

令和7年度 第3回学校運営協議会

日 時：令和7年8月28日（木）13:50～16:30

場 所：山梨県立ひばりが丘高等学校 視聴覚室

（司会：教頭）

- ① 開会の言葉（司会）
- ② 学校長あいさつ
- ③ 会長あいさつ
- ④ 学校より
ア 令和7年度避難訓練について（環境防災）
- ⑤ 意見交換（進行：会長）
- ⑥ 諸連絡（副校長）
- ⑦ 閉会の言葉（司会）

※ 今後の予定

授業公開週間（希望される方のみ）11月4日（火）～11月10日（月）

第4回学校運営協議会 1月30日（金）

* 令和7年度第3回学校運営協議会出席予定者

● 学校運営協議会委員（順不同）

元ひばりが丘高校校長	内田 大介	様（本会会長）
下宿連合自治会長	矢崎 政美	様（本会副会長）
富士吉田市立教育研修所所長	林 龍樹	様
富士吉田商工会議所直前会長	赤池 優樹	様
富士吉田市社会福祉協議会事務局長	白須 美行	様
ひばりが丘高校PTA会長	藤江 康弘	様
ひばりが丘高校校長	小林 久美	
ひばりが丘高校進路指導主事	坂本 洋子	

● 本校関係者（上記の委員を除く）

副校長 教頭 事務長 環境防災主任

* 令和7年度第3回学校運営協議会欠席の連絡をいただいた方

● 学校運営協議会委員（順不同）

都留文科大学特任教授	佐藤 比呂二	様
富士吉田市立明見中学校校長	加々美竜也	様

* 授業公開週間（希望される方のみ）令和7年11月4日（火）～10日（月）

・今回、別紙にてご案内しております。

* 第4回学校運営協議会 令和8年1月30日（金）10:20～

・正式な文書は、12月に発送します。

第3回学校運営協議会 議事録

司会：教頭

① 開会の言葉（教頭）

② 学校長あいさつ

- ・夏休みに県立文学館で行われた7校参加の商業研究大会において、本校うどん部が「上手にわかりやすく、内容の濃い発表」を行って優秀賞をいただき、とても誇らしく生徒の自信につながったと思います。
- ・女性目線の避難・防災についての講義を聴いていただき、引き続き震度6対応の避難訓練に参加いただき、生徒や先生方の様子を見ていただきありがとうございました。

③ 会長あいさつ

- ・必要な議論、情報交換をお願いしたい。
- ・本協議会発足時より、立て前や形式的な会にするのではなく、実のあるよう、本校が地域から援助されたり、地域に発信できたり、活動できるよう忌憚ないご意見をいただきたい。

④ 学校より

ア 令和7年度避難訓練について（環境防災）

- ・環境防災係主任より資料のとおり説明

（会長）防災に関する内容や、本日の避難訓練についての助言、質問等がありましたらお願いしたい。

（委員）家庭での避難訓練は実施したことはないが、最近だと会社で実施した。避難訓練等は有意義な形にするためにもAEDの使い方、心臓マッサージの仕方、担架の組み立て方等を体験した。担架に人形を乗せたが、重量を体感し実物の人間であればできただろうか疑問である。会社の担架の備え場所を把握したり、担架の組み立て方や人形ではあったが担架に乗せた重量を体で感じる事ができた。学校でも是非そんなことが体験できる避難訓練等をお願いしたい。

（会長）学校での心肺蘇生法等の実施状況はいかがか。

（副校長）救急救命法の実習は毎年5月に全教職員参加の下実施している。担架を使つての実習は実施していない。これまで日常の学校生活で必要な場面があった。教職員は担架、AEDの備え付けの場所は把握している。

（会長）実践で生きる実習をお願いしたい。

（環防主任）生徒への指導は体育の授業で実施している。

（会長）AED等の電源管理等もお願いしたい。

（委員）地道な訓練の積み重ねが緊急時に成果となって表れると思うので学校では継続して取り組んでほしい。

（会長）防災用具の備蓄品についての更新予算は県費か、適切にされているか。

（環防主任）消費期限が来れば随時更新している。

（会長）かつて学生の部活動指導で女子トイレ等の対応について苦慮したことを思い出した。本校は地域での二次避難所になっているが備蓄品は整っているか。

（環防主任）市が防災倉庫を備え付けているので市が対応している。

（委員）うどん部の発表は素晴らしく、発表者も上手で課題が明確になっておりわかりやすく率直に素晴らしいと思った。また、6月に火災対応の訓練を実施した

ようだが、どのような内容であったのか。

(環防主任) 今回同様、避難と係ごとに生徒に役割分担内容等を確認した。

(委員) 元小学校の教員だが、小学校では消火器の使い方の訓練をしていたがコロナ期を経て訓練ができていない。したがって、現在の高校生も消火器を扱った経験が減っている世代かなと思った。避難訓練の中で避難後各班に分かれての活動で消火班があったが、高校生自身が消火活動をするというところに今から社会へ出て行く大人への備えである高校生ならではの訓練だと感じた。中学校でも実施していないということなので、消火器は身近にある物だが意外と操作方法を把握していないのではと感じた。

(進路主事) かつては消火栓を確認して生徒と教員での放水訓練を実施していたが、そんな訓練も必要だろう。それに伴い消火栓の点検等もできていた。

(校長) それは良いことで、毎年実施だと大変だが二年に一度のように決めておき、消火器の扱いについては消防署と連携し考える必要がある。

(会長) 放水訓練ともなると危険を伴うが、器具の点検は必要である。安全性を確保しつつ専門家の指導助言等をいただきながら、適切に行っていただきたい。

⑤ 意見交換(進行:会長)

(会長) ご意見をお願いします。

(委員) 今日の避難の状況や集会の様子を見て高校生は大人であり中学生との違いを感じた。中学生も避難訓練の成果として地震が発生すると指示がなくても机の下に潜る。しかし、まだ言われたことしかできないところもある。高校生はそうではなく、高校生が大人に見え、大人を指導・教育していることを目の前で見ることで非常に良かった。服装も落ち着いており、学校の雰囲気が良く標準服の効果か、生徒達も頑張っていることが分かった。

(校長) 生徒は一生懸命自分の毎日を大事にしてくれて、教員もきめ細かく一人一人に寄り添い、百人いれば百様のそれぞれの教え方やそれぞれの個性を大事にしている。教員もカウンセリングマインドがあり、技量の高い教員が集まっている。

(委員) 制服について、他校は制服が指定されているが本校には制服がなく、子どもの兄は制服指定の高校に通った。親とすれば指定の制服を買った方が楽である。子どもが男の子なので標準服は探すのが大変で、「何でもいい」と言われ、適当になってしまう。最初は何を着るべきかとまどった。制服は指定され、きちんとした生地 of 丈夫で3年間もしくは4年間着れる制服の方が経済的である。ジャージは指定があり親として助かった。できれば指定の制服があるとありがたい。

(会長) おっしゃるとおりだ。私は長野県出身で高校時代に制服がなかったが、制服があった方が親は楽である。考え方はいろいろあるが、世間一般的な常識的なスタイル、感覚を生徒には身につけてほしい。本校生徒は以前に比べると着こなしは良くなったと感じる。委員の意見を参考にしていきたい。

(委員) 標準服というと、大体このような感じという、あってないようなものという答えになってしまうのでしょうか。

(校長) 標準服とは県内の特定の高校の制服ではなく、インターネットにあるような所謂一般的な普通の制服であればいいですよというものである。

(委員) そういったものは値段は安いが生地も薄く縫製も甘いものになってしまう。どうせお金を出すのであれば、きちんとした良いものを高校3~4年間着させ

たい。

(進路主事) 進路担当の立場から、9月の就職試験に向け、本校は洋服屋によるスーツの着こなし講座を行いスーツを購入してもらっている。身だしなみを整えて進路活動を行い、卒業式、入社式もスーツを着られるように早い段階から指導している。制服の可否の議論ではないが本校の現状である。

(会長) 指定の制服は比較的高価であり、経済的なことも踏まえて、「大体こんなところで備えてくださいね」という意味合いで本校は標準服を規定したと伺っている。ご意見もあるのでご一考いただきたい。校長何かございますか。

(校長) 本日は避難訓練の場でも避難場所はグランド一択ではなく、その時の状況に応じて判断が変わること等のご意見をいただいた。富士山の噴火の場合ケースが多すぎて想定した避難訓練は難しい。判断が難しく避難指示が決めきれない。専門家を招き勉強、研修の機会が必要である。

(会長) 生徒が自ら判断できる態度が身につく研修が必要だ。

(委員) 富士山の関係機関に2年間在籍しましたが、高校に講師を派遣していたので参考にしてほしい。「東日本大震災3・11」で教員の判断が誤り、子どもの命を失ってしまい裁判になっている事例があるが、その反省を元に教員への防災教育が必要とされている。

(校長) ありがとうございます。

(会長) 以上、特になければ意見交換を終わります。

⑥ 諸連絡 (副校長)

第4回開催予定と授業公開週間について連絡

⑦ 閉会の言葉 (司会)